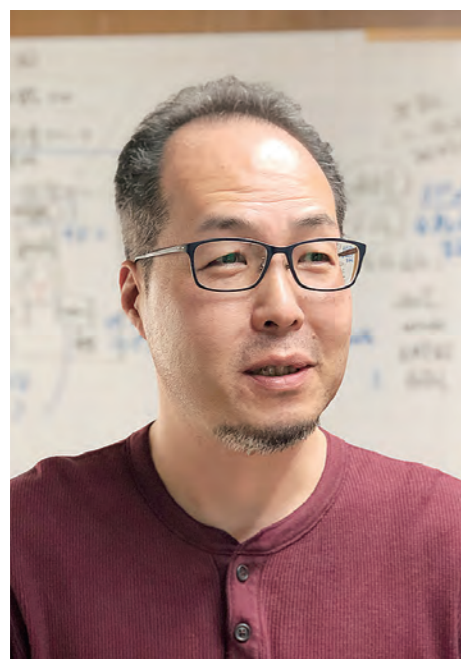


ぜんこく ひさいち かつやく
全国の被災地で活躍する

ぼく 僕らのヒーロー

さいがい お ひさいち あらわ かつやく ひと さんじょうし き
災害が起きると、被災地に現れて活躍する人が三条市にいて、話を聞きに行きました。



さいがい にいがた 災害ボランティアネットワーク

り 李 仁鉄 さん

7.13 水害で多くの人に助けてもらったので、今度は自分が助けたいと災害ボランティアを始めました。災害が起きると全国どこでもすぐに現地に行き、全国から集まるボランティアを取りまとめて被災者の支援をします。昨年は村上市、静岡県などでも活動しました。これまでに支援した地域は50近くあります。



さいがい 災害ボランティアとは



避難所

さいがい お 起きると、おおぜい ひと たいいくかん ひなんじょ ひなん
災害が起きると、大勢の人が体育館などの避難所に避難します。そこには、いろいろな人が集まります。耳が悪くて放送が聞こえない人、目が見えなくて一人で行動できない人もいます。

また、水害の被害にあった家は掃除が大変です。水を含んだ畳は100kgの重さになり、一人暮らしのお年寄りの手には負えません。



活動するボランティア

さいがい 災害ボランティアは、避難所で手助けしてほしい、家の片付けができないなどの一人ひとりの困り事に合わせて、きめ細かく手伝い、助けます。

さいがい 災害ボランティアが気を付けていること

ひとりひとりと向き合う

被災した人に「大丈夫ですか？」と聞くと、遠慮して助けて欲しいと言えず、「大丈夫だよ。」と応える人が多いそうです。そのため、ボランティアが被災者一人ひとりと向き合い、丁寧に声を掛けて困り事を聞き出しています。



合言葉は「泥を見ずに人を見よう。」

水害で泥まみれになった家の片付けはすぐにやっ
てあげたいと思ってしまうがちです。しかし、まず家の人の気持ちを聞くようにしています。先に大切なものを探したい人や、他人に家に入ってほしくないと思う人もいるからです。いつも、被災者の気持ちを一番に考えるようにしています。



君たちにもできることがある

普段から

地域の行事に参加したり、周りの人に進んで挨拶したりしよう。災害が起きたときに、声を掛け合って助け合いやすくなるよ。

災害のときは

例えば避難所では、お年寄りにご飯を取りに行ってあげたり、物資の仕分けやトイレ掃除をしたりもできるよね。トイレ掃除は、避難者の健康を守る大切な仕事なんだよ。

子どもでも人の命や健康を守るために役に立てることがある。万一のときはできることを探して、みんなで助け合おう

